

愛知県新型コロナウイルス感染症対策本部会議次第

日時：2020年1月30日（木）

午前9時30分～午前9時50分

場所：愛知県庁本庁舎6階 正庁

1 挨拶

2 議題

(1) 新型コロナウイルス感染症の現状について

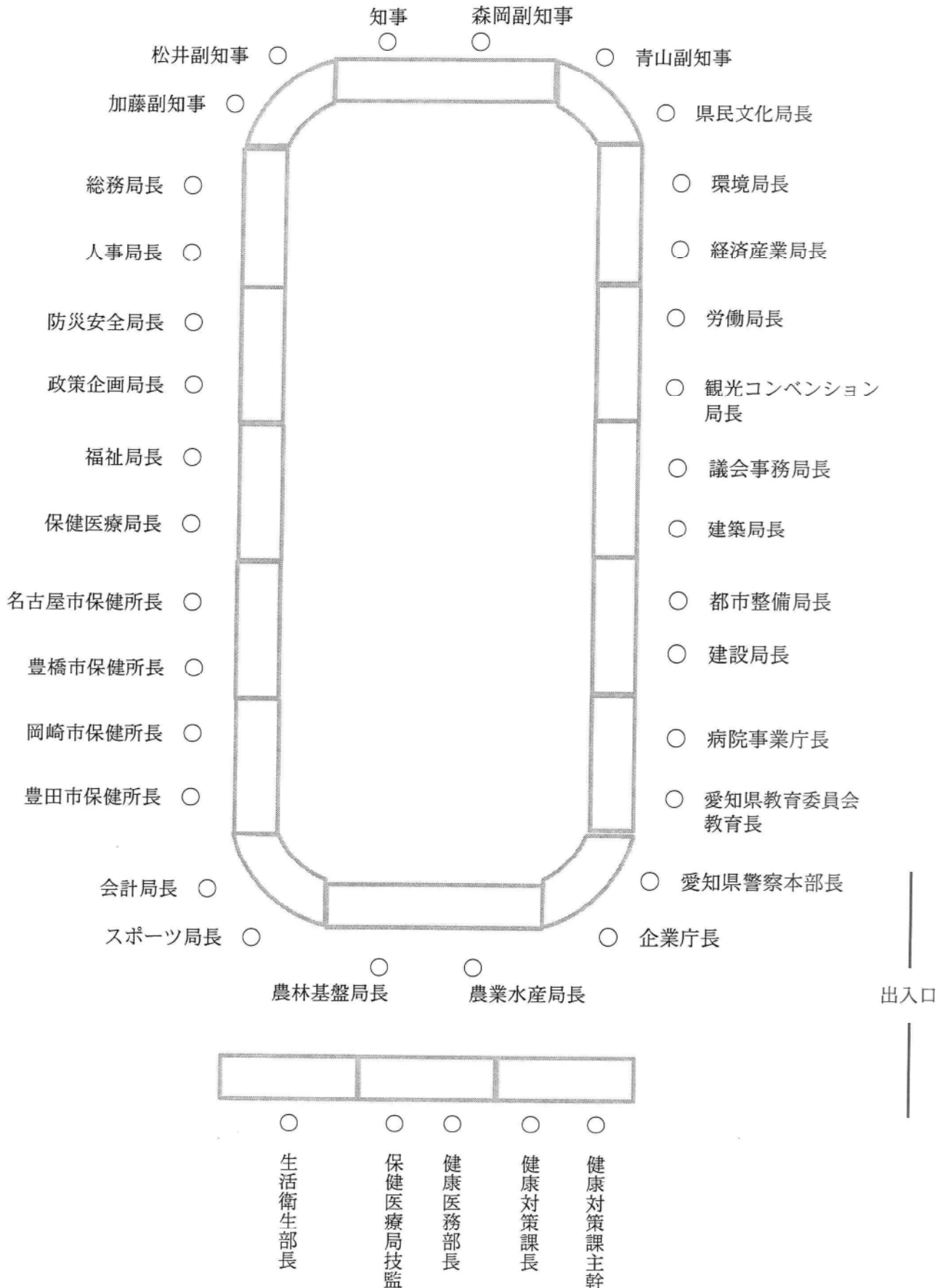
(2) 各局等の対応について

日時：2020年1月30日（木）

9：30～9：50

場所：愛知県庁本庁舎6階 正庁

愛知県新型コロナウイルス感染症対策本部会議 配席図



新型コロナウイルス感染症の現状について

1月30日（木）午前8時時点

○中国での発生状況

患者数 5,974人（死亡者 133人）

※ 外務省は、1月24日、中国湖北省に対する感染症危険情報をレベル3（渡航は止めてください）に引き上げ。

○中国以外での発生状況

日本、タイ、韓国、台湾、米国、ベトナム、シンガポール、フランス、オーストラリア、マレーシア、ネパール、カナダ、カンボジア、スリランカ、ドイツ等	患者数 91人（死亡者 0人）
---	-----------------

○日本での発生状況

	確定日	患者（国籍）	発生場所	備考
1	1月15日	30代男性 （中国人）	神奈川県	・武漢市の滞在歴あり ・海鮮市場には立ち寄っていない
2	1月24日	40代男性 （中国人）	東京都	・武漢市在住の旅行者 ・海鮮市場には立ち寄っていない
3	1月25日	30代女性 （中国人）	東京都	・武漢市在住の旅行者 ・海鮮市場には立ち寄っていない
4 【別添1】	1月26日	40代男性 （中国人）	愛知県	・武漢市在住の旅行者 ・海鮮市場には立ち寄っていない
5 【別添2】	1月28日	40代男性 （中国人）	愛知県	・武漢市在住の渡航者 ・海鮮市場には立ち寄っていない
6	1月28日	60代男性 （日本人）	奈良県	・武漢市への渡航歴無し ・武漢からのツアー客を運転手としてバスに乗せた
7	1月28日	40代女性 （中国人）	北海道	・武漢市在住の旅行者 ・海鮮市場には立ち寄っていない
8	1月29日	40代女性 （外国籍）	大阪府	・6例目と同じバスのバスガイド

令和2年1月26日（日）

【照会先】

健康局 結核感染症課
感染症情報管理室長
梅田 浩史（内線2389）
課長補佐 加藤 拓馬（内線2373）
主査 柳川 愛実（内線2932）
（代表電話） 03（5253） 1111

報道関係者各位

新型コロナウイルスに関連した肺炎の 患者の発生について（4例目）

本日（1月26日）18時頃に、国立感染症研究所より、今般の新型コロナウイルスに関連した感染症の症例の報告がありました。

この患者は、中華人民共和国湖北省武漢市在住の旅行者であり、1月24日にご本人が医療機関を受診した際に、武漢市の滞在歴の申告があったとして、報告がされたものです。

新型コロナウイルスに関連した感染症の患者の発生が国内で確認されたのは4例目です。

本件について、濃厚接触者の把握を含めた積極的疫学調査を確実に行ってまいります。

なお、本件に関する記者会見を21時から行います。

概要

- （1）年代： 40代
- （2）性別： 男性
- （3）居住地： 中華人民共和国（湖北省武漢市）
- （4）症状、経過：

1月22日に来日（症状なし）。

1月23日から発熱。

1月24日、症状が続き、関節痛も出現したため愛知県内の医療機関を受診。レントゲン及びCTで肺炎像が認められたため入院。

1月26日、発熱はあるものの容態は安定している。

（5）行動歴： 本人からの報告によれば、武漢市の海鮮市場（華南海鮮城）には立ち寄っていない。

中国において、肺炎患者との明確な接触は確認出来ていない。なお、移動時にはマスクを着用していたとのこと。

◆国民の皆様へのメッセージ

○ 今後とも各関係機関と密に連携しながら、迅速で正確な情報提供に努めてまいります。国民の皆様におかれましては、過剰に心配することなく、マスクの着用や手洗いの徹底などの通常の感染症対策に努めていただくようお願いいたします。

○ 武漢市から帰国・入国される方におかれましては、咳や発熱等の症状がある場合には、検疫所で必ず申し出下さい。また、国内で症状が現れた場合は、マスクを着用するなどし、あらかじめ医療機関に連絡の上速やかに医療機関を受診していただきますよう、御協力をお願いします。なお、受診に当たっては、武漢市の滞在歴があることを申告してください。

(その他)

今後とも、迅速で正確な情報提供に努めますので、国民の皆様への正確な情報提供に御協力をお願いします。なお、現場での取材は、患者の方のプライバシー保護といった観点からも、お控えください。

(参考) コロナウイルスとは

人や動物の間で広く感染症を引き起こすウイルスです。人に感染症を引き起こすものはこれまで6種類が知られていますが、深刻な呼吸器疾患を引き起こすことがあるSARS-CoV（重症急性呼吸器症候群コロナウイルス）とMERS-CoV（中東呼吸器症候群コロナウイルス）以外は、感染しても通常の風邪などの重度でない症状にとどまります。詳細は、国立感染症研究所の情報ページをご参照ください。

○国立感染症研究所 人に感染するコロナウイルス

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/from-idsc/2482-2020-01-10-06-50-40/9303-coronavirus.html>

令和2年1月28日（火）

【照会先】

健康局 結核感染症課
感染症情報管理室長
梅田 浩史（内線2389）
課長補佐 加藤 拓馬（内線2373）
主査 柳川 愛実（内線2932）
（代表電話）03（5253）1111

報道関係者各位

新型コロナウイルスに関連した肺炎の 患者の発生について（5例目）

本日（1月28日）14時頃に、国立感染症研究所より、今般の新型コロナウイルスに関連した感染症の症例の報告がありました。

この患者は、中華人民共和国湖北省武漢市在住の渡航者であり、1月26日にご本人が医療機関を受診した際に、武漢市の滞在歴の申告があったとして、報告がされたものです。

新型コロナウイルスに関連した感染症の患者の発生が国内で確認されたのは5例目です。

本件について、濃厚接触者の把握を含めた積極的疫学調査を確実に行ってまいります。

なお、本件に関する記者会見を19時から行います。

概要

- （1）年代： 40代
- （2）性別： 男性
- （3）居住地： 中華人民共和国（湖北省武漢市）
- （4）症状、経過：

1月20日に来日（症状なし）。

1月22日の午前から体調不良。

1月23日から37.2度の発熱。

1月24日平熱、倦怠感があったが経過観察。

1月26日37.5度の発熱があったため、愛知県内の医療機関受診し肺炎の診断あり。入院せず、滞在先で待機。

1月28日36.6度。他に明らかな症状無し。現在入院中。

（5）行動歴： 本人からの報告によれば、武漢市の海鮮市場（華南海鮮城）には立ち寄っていない。

中国において、肺炎患者との明確な接触は確認出来ていない。なお、移動時には

マスクを着用していたとのこと。

◆国民の皆様へのメッセージ

○ 今後とも各関係機関と密に連携しながら、迅速で正確な情報提供に努めてまいります。国民の皆様におかれましては、過剰に心配することなく、マスクの着用や手洗いの徹底などの通常の感染症対策に努めていただくようお願いいたします。

○ 武漢市から帰国・入国される方におかれましては、咳や発熱等の症状がある場合には、検疫所で必ず申し出下さい。また、国内で症状が現れた場合は、マスクを着用するなどし、あらかじめ医療機関に連絡の上速やかに医療機関を受診していただきますよう、御協力をお願いします。なお、受診に当たっては、武漢市の滞在歴があることを申告してください。

(その他)

今後とも、迅速で正確な情報提供に努めますので、国民の皆様への正確な情報提供に御協力をお願いします。なお、現場での取材は、患者の方のプライバシー保護といった観点からも、お控えください。

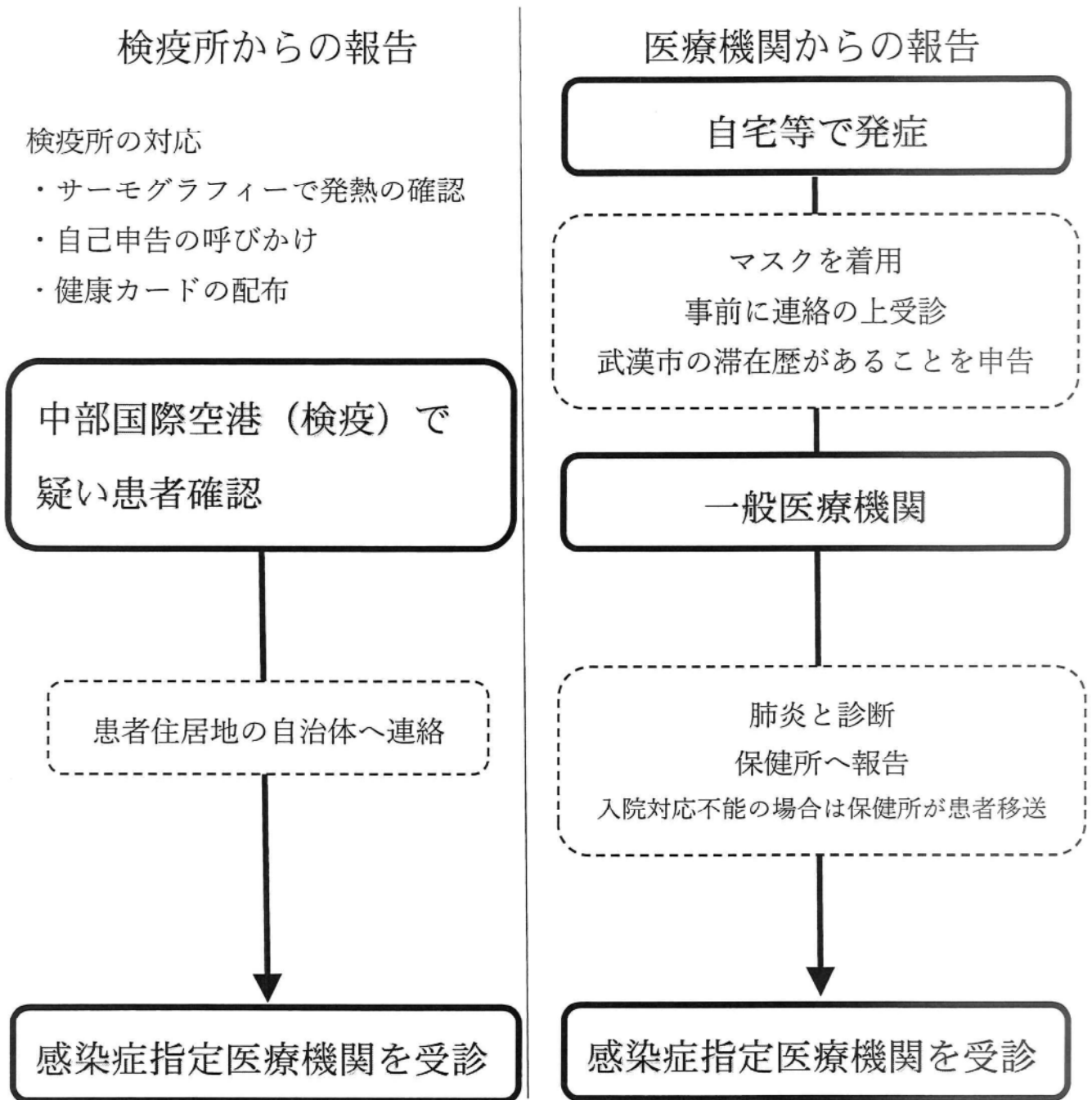
(参考) コロナウイルスとは

人や動物の間で広く感染症を引き起こすウイルスです。人に感染症を引き起こすものはこれまで6種類が知られていますが、深刻な呼吸器疾患を引き起こすことがあるSARS-CoV（重症急性呼吸器症候群コロナウイルス）とMERS-CoV（中東呼吸器症候群コロナウイルス）以外は、感染しても通常の風邪などの重度でない症状にとどまります。詳細は、国立感染症研究所の情報ページをご参照ください。

○国立感染症研究所 人に感染するコロナウイルス

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/from-idsc/2482-2020-01-10-06-50-40/9303-coronavirus.html>

愛知県での新型コロナウイルスを疑う患者に対する医療対応



- 疑い患者の定義
 - ・発熱かつ呼吸器症状を有している
 - ・発症から2週間以内に以下の(ア)、(イ)の暴露歴のいずれかを満たす。
 - (ア) 武漢市への渡航歴がある
 - (イ) 「武漢市への渡航歴があり、発熱かつ呼吸器症状を有する人」との接触歴がある。
- 感染症指定医療機関：県内12か所 72床

中部国際空港検疫所の対応状況等について

中部国際空港検疫所での水際対応

(1) 発熱の確認

- ・全入国者に対し、サーモグラフィー等を用いて、発熱等の有無を確認
- ・武漢市からの航空便については、検疫ブースにおいて、一人一人きめ細かに発熱等の症状を確認

(2) 自己申告の呼びかけ

- ・検疫ブースにおいて、ポスターを用いて武漢市からの帰国者及び入国者に対する自己申告の呼びかけを実施
- ・中国からの全ての航空便に対し、事前の健康カードを配布及び機内アナウンスを用いて自己申告の呼びかけを実施予定

(3) 啓発

- ・中部国際空港及び名古屋検疫所のウェブページにて、新型コロナウイルスに関連した感染症に関する注意喚起を掲載

感染症指定医療機関について

感染症指定医療機関は、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、新感染症、一類感染症、二類感染症及び新型インフルエンザ等感染症の患者の入院を担当する医療機関として、「特定感染症指定医療機関」は厚生労働大臣が指定、「第一種感染症指定医療機関」及び「第二種感染症指定医療機関」は都道府県知事が指定している。

入院を担当する医療機関		類 型	感染症名等
第一種感染症指定医療機関	特定感染症指定医療機関	新感染症	既知の感染症と症状などが明らかに異なり、かつ危険性が極めて高い感染症。
		一類感染症 (7疾患)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症 エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱など
		二類感染症 (7疾患)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高い感染症 中東呼吸器症候群(MERS)、鳥インフルエンザ(H5N1)、鳥インフルエンザ(H7N9)など
		新型インフルエンザ等感染症	新型インフルエンザ 再興型インフルエンザ
第二種感染症指定医療機関			

《本県における感染症指定医療機関の設置状況》

指定の別	医療圏	病院名称	病床数	備考	
特定感染症指定医療機関	(全国で4か所)	常滑市民病院	2床	国が指定	
第一種感染症指定医療機関	(県内で1か所)	名古屋第二赤十字病院	2床	県が指定	
第二種感染症指定医療機関	名古屋・尾張中部医療圏	名古屋市立東部医療センター	10床	県が指定	
		海部医療圏	厚生連海南病院		6床
		尾張東部医療圏	公立陶生病院		6床
		尾張西部医療圏	一宮市立市民病院		6床
		尾張北部医療圏	春日井市民病院		6床
		知多半島医療圏	厚生連知多厚生病院		6床
		西三河北部医療圏	厚生連豊田厚生病院		6床
		西三河南部東医療圏	岡崎市立愛知病院		6床
		西三河南部西医療圏	医療法人豊田会刈谷豊田総合病院		6床
		東三河北部医療圏 東三河南部医療圏	豊橋市民病院		10床

計 12 か所 72 床

新型コロナウイルス感染症に係る電話相談窓口設置状況

(1月29日現在)

	相談窓口	相談対応時間
愛知県	保健医療局健康対策課 県保健所（12か所）	平日 午前9時～午後5時
名古屋市	各区保健センター	平日 午前8時45分 ～午後5時15分
豊橋市	豊橋市保健所	平日 午前9時～午後5時
岡崎市	岡崎市保健所	平日 午前9時～午後5時
豊田市	豊田市保健所	平日 午前9時～午後5時

「指定感染症」に閣議決定されました

1月28日、新型コロナウイルス感染症について、感染症法に基づく「指定感染症」と検疫法に基づく「検疫感染症」に指定する政令が閣議決定されました。

施行は2月7日で、施行後は、検疫所では入国者への診察・検査等、県（又は保健所設置市）では、患者の入院勧告や就業制限等ができるようになります。

○ 感染症法の分類と対応

	感染症名	主要な対応
一類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症 【エボラ出血熱、ペスト、ラッサ熱など】	交通制限、入院勧告、就業制限、消毒
二類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高い感染症 【結核、SARS、MERS、鳥インフルエンザ H5N1・H7N9 など】	入院勧告、就業制限、消毒
三類感染症 (5疾病)	【コレラ、細菌性赤痢、O-157 など】	就業制限、消毒
四類感染症 (44疾病)	【デング熱、マラリア、E型肝炎など】	消毒
五類感染症 (48疾病)	【麻しん、風しん、梅毒、破傷風など】	
新型インフルエンザ等感染症	【新型インフルエンザ、再興型インフルエンザ】	入院勧告、就業制限、消毒
指定感染症	一～三類感染症と同程度の危険性を有し、それらに準じた措置を実施しなければ、国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあるもの 1年間に限定した指定（最長1年間延長あり）	入院勧告、就業制限、消毒

○ 「指定感染症」の過去の指定状況（1～4は現在、二類感染症に指定されている。）

	指定	疾患名	備考
1	2003年	重症急性呼吸器症候群（SARS）	患者数 8,098人（うち死亡 774人） 国内発生なし
2	2006年	鳥インフルエンザ（H5N1）	患者数 861人（うち死亡 455人） 国内発生なし
3	2013年	鳥インフルエンザ（H7N9）	患者数 1,568人（うち死亡 615人） 国内発生なし
4	2014年	中東呼吸器症候群（MERS）	患者数 2,494人（うち死亡 858人） 国内発生なし
5	2020年	新型コロナウイルス感染症	患者数 5,000人超（うち死亡 100人超） 国内発生 8例 【1月29日現在】